



CONTENTS

トップコミットメント

事業戦略

私たちが目指す社会

特集

私たちの事業を通じた社会課題の解決

NTTコミュニケーションズグループのサステナビリティ

サステナブルな未来を創造する企業グループを目指して

サステナビリティ基本方針と「まだ見ぬコミュニケーションの創造」

サステナビリティマネジメント

- サステナビリティ推進体制とガバナンス、リスク管理、戦略、指標・目標
- 指標・目標と活動の成果
- NTTコミュニケーションズグループのバリューチェーンを通じたサステナブルな未来実現に向けた取り組み
- NTTグループとの関係／外部との関係



社会



環境



人材



ガバナンス

第三者保証

企業情報



環境

目指す未来

カーボンニュートラルで、資源が循環し、生物多様性が保全されて自然と共生する、グリーンな未来

私たちは、以下の関連主要推進事項により、「2030年度カーボンニュートラル(NTTコミュニケーションズグループが排出するGHG: Scope1,2の実質ゼロ化)」を目指します。



2022年度				
主要推進事項	指標 (KPI)	振り返り	評価	今後に向けて
重点活動項目 脱炭素社会の推進				
グリーン電力の推進	定量 自社における再生可能エネルギー(非化石証書活用による実質再エネを含む)利用率: 2030年度50%以上	49% (事業活動に伴うGHG排出量のうちGHGプロトコル: Scope2の由来となる電力)	○	●再生可能エネルギーの計画的な導入を進めるとともに、最新の省電力技術の積極的な導入やインターナルカーボンプライシング導入などのGHG排出削減に寄与する施策を確実に実施 ●社用車によるGHG排出削減に向け、EV化の推進に加え、所有する車両の台数や利用形態の見直しを積極的に推進
電力削減施策の推進	定量 GHG排出量の削減: 2030年度に2018年度比▲50%	▲46% (2018年度比)	○	
EV(電気自動車)の導入	定量 EV(電気自動車)導入率: 2024年度50%、2030年度100%	35%	○	
GHG削減に貢献するサービス等の提供	定量 社会のGHG排出量の削減貢献量: 2030年度に自社排出量の10倍以上	17.1倍	○	
エネルギー効率向上の推進	定量 通信事業の電力効率: 2030年度に2013年度比10倍以上	4.3倍	○	

重点活動項目 循環型社会の推進				
3R(削減、再利用、再資源化)の徹底	定量 強化 廃棄物のリサイクル率: 2022年度98.2%以上、2030年度99%以上	98.1%	△	リサイクル率向上に向けた処分対象・処分方法の見直し
プラスチックの循環利用の推進				

P050 2030年度カーボンニュートラル(Scope1,2)の実現に向けた考え方および2040年ネットゼロ(Scope1,2,3)については、レポート内「環境目標2030」パートをご覧ください

2023年度	
主要推進事項	指標 (KPI)
GHG排出量の削減	定量 カーボンニュートラル(2030年度) ※GHGプロトコル: Scope1,2を対象 定量 2023年度GHG排出量(Scope1,2): 11.7万t-CO ₂ e
EV(電気自動車)の導入	定量 EV(電気自動車)導入率: 2025年度50%※、2030年度100% ※2022年7月に実施したNTTドコモグループ(当時)との組織再編に際して、新たな社用車を受け入れたのに伴い、中間目標達成年度を見直し
GHG排出量削減に貢献するサービス等の提供	定量 新 2023年度のGHG排出量削減に貢献するサービスの共創等の推進: 2件
エネルギー効率向上の推進	定量 通信事業の電力効率: 2030年度に2013年度比10倍以上

3R(削減、再利用、再資源化)の徹底	定量 廃棄物のリサイクル率: 2023年度98.2%以上、2030年度99%以上
プラスチックの循環利用の推進	

自己評価による達成レベル ○: 達成 △: 一部達成 ×: 未達成